

第5回草津市中学校給食実施方式等検討委員会議事要旨

■日 時：

平成29年2月27日(月) 午後7時00分～8時00分

■場 所：

草津市役所6階 教育委員会室

■出席委員 海老委員(委員長)、大友委員、近藤委員、柳澤委員、辻本委員(副委員長)、
糴川委員、高阪委員、清水委員、三尾委員

■欠席委員 北中委員

■事務局 明石教育部長、居川副部長、岸本課長、片岡グループ長、川越主任、
平井氏(株創建)、定廣氏(株創建)、
首藤氏(立命館大学スポーツ健康科学部 海老研究室)

■傍聴者 なし

次 第

1 開会

2 報告案件

(1) 草津市中学校給食実施基本計画(案)に対するパブリックコメントの実施結果について

(2) 草津市中学校給食実施基本計画の策定について

3 閉会

議 事

1 開会

- 事務局 ただいまより、第5回草津市中学校給食実施方式等検討委員会を開催する。本日の委員会は、委員10名のうち、9名の出席のため、草津市教育委員会附属機関運営規則第6条第1項に基づき、開催要件を満たしている。
- 教育部長 昨年から御審議いただき、とりまとめていただいた草津市中学校給食実施基本計画(案)については、昨年12月に委員長から教育長へ答申をいただいた。本市においては、基本計画(案)に対するパブリックコメントを実施し、市民の皆様の御意見を頂いたところである。本日は、パブリックコメントに対する本市の考え方および基本計画の策定について御報告したい。
- 事務局 第4回委員会の会議録は草津市市民参加条例第9条第4項の規定に基づき公表することになっており、委員長に御確認をいただいた上で草津市のホームページで公開しているので御了解願う。

2 報告案件

- 事務局 これより議事進行は、草津市教育委員会附属機関運営規則第5条第2項により委員長に願います。
- 委員長 それでは、議事を進行する。
- 事務局 (報告案件(1)草津市中学校給食実施基本計画(案)(以下、基本計画(案))に対するパブリックコメントの実施結果について、資料1「基本計画(案)に対するパブリックコメントの実施結果について」、報告案件(2)草津市中学校給食実施基本計画(以下、「基本計画」)について、資料2「基本計画(概要版)」、資料3「基本計画」を説明。)
- 委員長 パブリックコメントが4件あったとのことだが、市民の関心が高い方であると思っております。
- 事務局 比較的高い方である。
- 委員長 市の考え方はもうオープンになっているのか。
- 事務局 資料等についても公表されている。
- 副委員長 以前、給食を実施していた時は牛乳を飲めない子が多かったが、小学校給食の現状はどうなのか。
- 委員 中には飲めない子もおり、冬場で寒い時は飲み残しが多い時もあるが、ほぼ飲めている。
- 委員 現状を正確に把握しているわけではないが、日によって飲み残しが多い時はある。牛乳を提供すること自体を疑問に思ったことはない。飲むことは基本になっていると思う。
- 副委員長 かつて牛乳だけを提供されていた頃は、牛乳とお弁当の組合せが合っていないことや、寒い時期の間などは飲みにくいと思ったことがある。アレルギーの問題もあり、無理に飲めとは言えない。飲み残しが多い場合に、他の物を提供するなどの代替案はあるのか。今すぐに代替案を求めているわけではないが、他

の自治体の例も参考にして検討してほしい。

委員長 牛乳を常には提供しないこととした自治体もあるが、牛乳に含まれるカルシウムを他の食品で摂ろうとすると価格や塩分の問題が出てくるため、常時提供する運用に戻した自治体もある。

すでにオープンになっているとのことだが、個人的な意見であるが、牛乳ありきではなく、給食が無くなる年齢から、カルシウムの摂取量は全国的に下がっている実態もある。草津市としては、カルシウム等の児童・生徒が摂取しにくい栄養素を効率よく取り入れることができる等の理由により牛乳の提供を検討しているが、まだ提供するかどうかは決まっていないこと、牛乳の在り方についても検討していくということを示し方が良かったのではないかと。意見提出者は牛乳の在り方について検討してほしいか、という意見だったと思う。中学校給食で牛乳を出すことは前提なのか。

事務局 一食当たりのカルシウム等の栄養素を重視している。小学校でも提供している実態や、牛乳を提供しない場合の他の食品のコスト等も含めて、今後検討していく予定である。

委員長 牛乳を提供するのであれば、小学校からの一貫した食育を重視している、全国の事例、牛乳がなくなることのデメリット等、草津市として牛乳に対する取り組み方の提示や、皆で牛乳について考えていく取り組みを検討してほしいか。

委員 牛乳が苦手な子は多いので、代替品も選べると良い。検討してほしい。

委員長 昨年からの検討を踏まえて、意見はあるか。

委員 非常に勉強になったし、食べ物は大切であるということを改めて感じた。食べ残しの問題や先生の負担にならないよう気を付けて実施できたら良いと思う。給食の実施によって親の負担が減るので、子・親双方にとって、実施することになって良かったと思う。

委員 どんな給食になるか楽しみであり、給食について改めて考える良い機会になった。小学校の給食センターに保護者と共に見学に行き、成長期の子どもたちに必要な栄養素について話を伺った。保護者は、勉強になったと仰って大変喜んでいて。このように、食に対する関心を持つ保護者が増えると良いと思う。中学校給食について、草津市から発信をしてほしい。

委員 小学校給食の評判が良いのは、調理員の調理技術が非常に高く、大量調理にもかかわらず大変丁寧に作ってくれているからだと思う。そのため、まず調理員の技術が重要である。また、出来立て・作り立ての適温給食を提供できれば良い。また、ランチルームなど、食べる環境も考えてほしい。

中学校で行う食育は教科学習であることになると思うが、実際に食べる給食を生きた教材として活用できることに利点があると思う。

委員 給食は学校だけでは実施できない。給食に関して何か問題が起こった時には、学校だけでなく家庭が担うべきこともある。スマホ問題にも代表されるように、子育ては学校だけでなく家庭で担うことが基本だという世論のようなも

- のを作っていけると望ましい。
- 委員 給食について検討していく過程で、自分自身も勉強になった。自分の子どもも食べているが、たくさんの人の思いや手間が重なって、おいしい給食を食べられていること再確認できた。給食は何年も続けていることであり、時代の流れによって変わってくる部分もあると思うが、食べ物は人間の基本であるので、基本を忘れない形の給食であってほしい。牛乳の必要性、安全性の話があったが、牛乳は人間の体に悪いのでは、という噂もあり、アレルギーでなくとも拒否する保護者もいると聞いたことがある。アレルギー等もあり、全員が同じものを食べることに難しさも感じる。しかし、中学生は自分で料理をつくることもある年齢であり、給食が与える影響も大きいと思う。年々変化する中でより良いものになってほしい。また市民の意見も取り入れられる機会があるとありがたいと思う。
- 委員 給食を実施することになって良かったと思う。中学校の先生方は大変だと思うが、お弁当を持参できない子供にも平等に給食を提供できることは本当にありがたい。子どもたちが一汁三菜の日本食の良さも味わえるような給食になると良い。様々な問題が起こる可能性はあるが、前向きに解決して行ってほしい。
- 委員 食は人格をつくるとも言われ、自分自身もそう思っている。給食実施についての方針が定まり、まずは良かったと思う。今後、ハード面の整備、ソフト面の整備を進めていくことと思うが、給食を導入して良かったかどうか、導入前、直後、一年後などのポイントで、導入前後で評価する必要がある。大学等とも協働し、良いものをつくっていくことが極めて重要だと思う。
- 委員長 導入前後の調査や評価も含め、今後も見届けていく責任がある。
- 副委員長 彦根市が最近給食を導入したが、予想していたより混乱はないと聞いている。しかし、給食の導入によって学校の日課は大きく変化するし、子どもの教育活動の見直しや先生の働き方について考えていかななくてはならない。給食はおいしくない続かないという声も多く聞いており、草津市らしいもの、本当に良いものを提供できるよう検討を続けてほしい。中学校給食を実施していくのは現場なので、現場の教員の意見をできるだけ取り入れながら導入していく必要があり、教育全体の中で総合的に検討してほしい。事務局にも、現場の状況を見ていただき、地域や保護者と協働しながら、より良い教育を進めて行ってほしい。
- 委員長 草津市が健幸都市宣言をした後での実施であるから、この給食は生徒だけでなく、教員の方にとっても健康なものでなければならない。それぞれの立場からスチューデントファーストの立場で考えていただいたことに感謝する。自分は、食育を考える際、三つの「わ」を考えている。一つ目は、まず最初に考えなくてはならないこと、自分自身であったり、中学生の食事であったり、和食であったりという意味の「和」、二つ目は学校現場と子供たちの食との繋がりや、同じ食事を皆で食べることによる繋がりなど、繋がりとしての「輪」、三つ目は、中学校給食の実施によって、いろんな場面で循環の環

が中学校給食の「環」である。給食を実施することで様々な繋がりや循環の環が生まれると思う。開かれた給食というのもそのうちのひとつだと思うが、市民がいろいろな形で関わっていくことができる給食になることが望ましいと思う。後発だからこそ、できることがあるので、草津市らしい給食を考えていくべきだと思う。ここにいる委員には、それを見守り、見届けてほしい。

教育副部長 委員の皆様には、今年の5月から熱心に御議論いただき、感謝する。今後、望ましい給食の実現にむけて事務局も尽力していく。栄養バランス等に考慮しながら、献立等を工夫して、生徒に喜んで食べてもらえるような給食を目指して行く。今後も、それぞれのお立場から本市の取り組みに御理解と御協力をいただくようお願いする。

事務局 これにて、第5回草津市中学校給食実施方式等検討委員会を終了する。

終了